
■ さろん | Mail News 2016/12/17 | #81 ■ 【読み物号】

(*Bcc でお送りしています) ご案内不要の方はお手数ですがこのメールにそのまま返信ください。

「さろん」や哲学カフェ界限の情報をご案内いたします。
みなさんの興味・関心の一助としていただくとともに、今後とも弊会を応援いただければ幸いです。
なおメールニュース掲載のコラムは執筆者の個人的な考えを表したものであり、
会や専門領域における統一見解とは異なる場合がありますのでご了承ください。

=====Vol.81 2016年12月17日(土)=====

さ | ろ | ん |
└ ─ ─ ─

M | a | i | l | N | e | w | s |
└ ─ ─ ─ ─ ─ ─ ─ ─ ─

<http://salon-public.com/>

(バックナンバーはHPからご覧いただけます)

<https://twitter.com/salontetsugaku>

<https://www.facebook.com/salontetsugaku/>

=====

=====

┌──INDEX──┐

- | 【おしらせ】(12/21) 喫茶：ゆるっとあたまのピクニック
- | 【1】コラム/エッセイ
- | ◇『愛することについて思う ～『愛の試み』解題2～』
- | 【おしらせ】「さろんラボ」企画を募集しています
- | 【付録】コトバをハーバリウムする
- | 【付録】さろんアーカイブの遊歩道
- | 編集後記

┌──CONTENTS──┐

──【おしらせ】──

- (12/21) 喫茶：ゆるっとあたまのピクニック
- テーマ「自分の頭で考えるって？」

去る10/28に開催した『ゆるっとトークカフェ』、冷たい雨の降る中でしたが少人数でこじんまり、ゆるゆると座談の雰囲気になりました。

次回テーマは「自分の頭で考えるって?」、12月21日(水)19:00-21:30開催です。

この会は少人数でこじんまりと集まって、ゆったり考えたり、語ったり、聞いたりしてみます。
ゆるっと奏でる月イチのセッションの時間です。どうぞおたのしみに。

定員 5 名まで

12 月 21 日 (水) 19:00 より

渋谷エリア (申込者にご案内)

参加費 100 円 (別途、注文した飲食費実費をお支払いください)

お申込み: salontetsugaku@gmail.com

(幹事: せりざわ)

【1】コラム/エッセイ

▽【愛することについて思う ～『愛の試み』解題2～】

一生

▽【愛することについて思う ～『愛の試み』解題2～】

一生

エーリッヒ・フロムは自身の著作「愛すること」で次のように語る*1。「人間のもっとも強い欲求とは、孤立を克服し、孤独の牢獄から抜け出したいという欲求である。この目的の達成に全面的に失敗したら、発狂するほかない。なぜなら、完全な孤立という恐怖感を克服するには、孤立感が消えてしまうくらい徹底的に外界から引きこもるしかない。そうすれば、外界も消えてしまうからだ。「生産的活動で得られる一体感は、人間どうしの一体感ではない。祝祭的な融合から得られる一体感は一時的である。集団への同調によって得られる一体感は偽りの一体感にすぎない。完全な答えは、人間どうしの一体化、他者との融合、すなわち愛にある」。本年9月の記念例会から、対話をし考え続けてきた「愛」。本稿ではこの愛について考えてみたい。

さらに続けて語る*1。「…成熟した愛は、自分の全体性と個性を保ったままでの結合である。愛は、人間のなかにある能動的な力である。人をほかの人びとから隔てている壁をぶち破る力であり、人と人を結びつける力である。愛によって、人は孤独感・孤立感を克服するが、依然として自分自身のままであり、自分の全体性を失わない。愛においては、二人が一人になり、しかも二人でありつづけるという、パラドックスが起きる」。「二人の人間が自分たちの存在の中心と中心で意思を通じあうとき、すなわちそれぞれが自分の存在の中心において自分自身を経験するとき、はじめて愛が生まれる。この『中心における経験』のなかにしか、人間の現実はない。人間の生はそこにしかなく、したがって愛の基盤もそこにしかない」。

愛とは何か。哲学者によれば、愛とは、「孤独感を克服する」ための「完全な答え」であり、「人間どうしの一体化、他者との融合」である。愛が始まる時は「二人の人間が自分たちの存在の中心と中心で意思を通じあうとき、すなわちそれぞれが自分の存在の中心において自分自身を経験する」ときである。一体どういうことか。先月のさろん：序で想定した考えはこうである。自分をときに俯瞰する意識(対自存在*2)ではなく、人間の中心にある魂や芯(即自存在*2)同士が接近し、意思を通じ合い、互いのあるがままを認め合い、尊重し合うとき、接近、意思疎通、承認、尊

重が融合し、愛になる。まだまだじっくり考え続けたい。さて。明治神宮交差点や表参道・原宿二丁目、神宮橋交差点から表参道交差点まで約5百メートルに及ぶ櫟並木では、シャンパンゴールドの暖かい灯りに包まれ、この街にも二つの影が愛を確かめ合うクリスマスがやって来る。

*1：エーリッヒ・フロム著「愛すること」

*2：ヘーゲル著「精神現象学」／竹田青嗣＋西研著「超解説！はじめてのヘーゲル『精神現象学』」

【おしらせ】

「さろんラボ」ではみなさんのやる気とアイデアを募集しています♪

名称：【さろんラボ】

コーディネーター：【大村】

「さろんラボ」、常設しています。

このさろんラボではみなさんの「やってみたい」を核に、「さろん」を触媒にして、どんな化学変化が起きるかを試みる場所です。さろんラボは当面継続して設けていきます。

この「さろんラボ」からは、さろんの参加者の手で、

【さろんラボ 001】 「あたまの中を散歩するてつがくカフェ」

<http://sanpo-tetsugaku.jimdo.com/> が生まれ、

【さろんラボ 002】 「哲学カフェ Ante-table/アンティテーブル」

<http://ante-table.wix.com/ante-table/> も生まれました。

既存の哲学カフェのカタチに限定せず、みなさんの中で温まっている関心ごとやご興味を添えて、どうぞお気軽に下記までご連絡下さい。

みなさんとの新しい化学変化を、スタッフ一同心から楽しみにしています。

▽詳細はこちらまで

salontetsugaku@gmail.com (担当：大村)

【付録】

コトバをハーバリウムする

本のコトバから #14

人生は一箱のマッチに似ている。重大に扱うのは莫迦莫迦しい。重大に扱わなければ危険である。

——芥川龍之介『侏儒の言葉』

歌のコトバから #14

誰かが禁断の実摘み取り 再び次の果実が実る
揺るぎのない決心に 凍りつく顔
力のない瞳が映すのは 僕という過去なんだ

—Mr.Children 『渴いた kiss』 (作詞：桜井和寿)

【付録】

さろんアーカイブの遊歩道 #08

カテゴリ：【さろん哲学 議事録】 第25回

テーマ： 「幸せは比べることができるか？」

開催日： 2012年9月9日

http://salon-public.com/wp-content/uploads/2013/01/salon_giji_25.pdf

「われわれは価値のあるものをよしとしているにもかかわらず、その探求を絶対法則として課していないのは間違いであろう。この間違いはよくあるものだが、その結果は深刻である。」(アラン『幸福論』)

「幸せ」について思いを巡らせたくなったとき、「幸せは比べることができるのか？」という場所から始めることもできる。「比べることのできる幸せ」について考えるためには、比べる対象が必要になってくる。だとしたら、おとなになればなるほど、経験や観察や知識という素材が増えれば増えるほど、幸せについての考察は、多重で複雑で深遠さを増していくものとなるはずである。確かに、子供の頃は、幸せとは瞬間瞬間に感じるもので、腰を据えて考えるようなものではなかった。考える必要もなかった。何とも比べなくても、それが幸せとわかるような幸せだった。それが善いことか悪いことかは別として、おとなになったわたしは、こうして幸せについて「考え、感じ、対話する」ことを試みる。そこにいる他の人の言葉と比べながら。

ところで、ここで、素朴な疑問を一つ。幸せについて「考える」ことと、現実の幸せを「つくる」こととの相関関係は、どこにあるのだろうか。(た)

編集後記

メールニュース第81号をお届けします。

12月の半ばを過ぎ、年末進行の業務や忘年会など、慌ただしさを増している頃ではないでしょうか。

クリスマスの、そして年末の足音も大きく聞こえるこの時期ですが、みなさんいかがお過ごしでしょうか。

ことし一年もさろんの活動にご参加いただき誠にありがとうございました。
今月頭に開催したクリパにも沢山の方にご参加いただき、この一年を振り返ったりしながら楽しく哲学ゲームに興じたりと、愉快的時間を過ごすことができました。来年のさろんにもますますご期待いただきますよう、また本年同様ご愛顧くださいますよう。

みなさま、よいお年をお迎えください。
それではまた来年、次号にてお会いしましょう。ほう。
編集: (フクロウ)

さろん | Mail News 2016/12/17
⇒次号 (1月1日発行予定)

さろん Mail News 第81号 / 2016年12月17日発行【読み物号】
編集・発行: さろん
salontetsugaku@gmail.com
<http://salon-public.com/>
<https://twitter.com/salontetsugaku/>
<https://www.facebook.com/salontetsugaku/>

- ◇ 「さろん」にお知らせいただいたお名前・メールアドレスなどの個人情報は、当会からのご案内のためだけに使用いたします。
また、ご本人の同意なく第三者への提供はいたしません。
- ◇ 「Mail News」の無断転載はご遠慮ください。転載ご希望の場合はご連絡願います。
バックナンバーはHPからご覧いただけます。
- ◇ 【Twitter】 <https://twitter.com/salontetsugaku>
- ◇ 【Facebook】 <https://www.facebook.com/salontetsugaku/>
- ◇ 【ホームページ】 <http://salon-public.com/>
「さろん哲学」Web サイト <http://salon-public.com/tetsugaku/>
「朝さろん」 Web サイト <http://salon-public.com/asa/>
「さろん工房」Web サイト <http://salon-public.com/koubou/>



"copyright (c) 2011-2016 さろん. All rights reserved."
